

# 予 算 要 求 資 料

令和4年度9月補正予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：児童福祉諸費

## 事業名【新】児童福祉施設等退所者緊急支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 子ども家庭課 児童養護第二係

電話番号：058-272-1111(内2637)

E-mail：c11217@pref.gifu.lg.jp

**1 事業費 補正要求額 24,146 千円 (現計予算額： 0 千円)**

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	24,146	0	0	0	0	0	0	0	24,146
決定額	24,146	24,146	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

児童福祉施設等の退所者は、安定した生活基盤の確保が困難であり、経済的援助を必要とする者が多い。

さらに、新型コロナウイルスや物価高騰等の影響による、就業機会の減少・支出の増加など従来よりも生活困窮に陥りやすい状況であり、支援が必要である。

### (2) 事業内容

岐阜県が施設に措置し、平成31年4月1日から令和4年9月30日までにその施設を退所した者(家庭復帰した者を除く)に対し、施設を通じて10万円を支給する。

#### 【支給方法】

- ・県から退所施設に対し、支援に係る経費について支弁
- ・施設から対象者に対し、直接支給

#### 【対象施設】

児童養護施設、里親、ファミリーホーム、自立援助ホーム、児童自立支援施設、児童心理治療施設

(3) 県負担・補助率の考え方  
県10/10

(4) 類似事業の有無  
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	24,146	支援金 100千円×240人 事務費 146千円
合計	24,146	

**決定額の考え方**

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」令和4年4月26日

(2) 国・他県の状況

名古屋市：児童養護施設等退所者への物価高騰対応支援金の支給（6月補正）

(3) 後年度の財政負担

単年度での実施予定

(4) 事業主体及びその妥当性

児童養護施設等の入所児童は、県が保護し措置した児童であり、児童の自立については、県が支援を行う必要がある。

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	児童福祉施設等退所者緊急支援事業費補助金
補助事業者（団体）	児童養護施設等 (理由) 施設退所者が措置されていた施設であるため。
補助事業の概要	(目的) 退所者に対し、10万円を支給する (内容) 支給に係る経費について補助
補助率・補助単価等	定額 (内容) 退所者への支給に係る経費 (理由) ・退所者への支給を効果的に実施するため。
補助効果	退所者への効果的な支給に寄与
終期の設定	終期令和4年度 (理由) 物価高騰等の影響を受ける施設退所者に対する緊急支援であるため。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 対象者すべてに対し、10万円を支給する。</p>
---

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
①対象者への支給率					100%	
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"><li>取組内容と成果を記載してください。</li></ul>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"><li>事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li></ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"><li>事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</li></ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"><li>事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li></ul>	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"><li>事業が直面する課題や改善が必要な事項 支給を契機として、退所者への適切な支援につなげていく必要がある。</li></ul>
---

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"><li>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 緊急支援であるため、単年度実施</li></ul>
---